

平成 26 年 度

北秋田市公営企業会計決算審査意見書

北秋田市監査委員

北 秋 監 080005  
平成 27 年 8 月 25 日

北秋田市長 津 谷 永 光 様

北秋田市監査委員 久留嶋 正夫

北秋田市監査委員 戸嶋 廣 實

北秋田市監査委員 黒澤 芳彦

### 平成26年度 北秋田市公営企業会計決算審査意見の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成26年度北秋田市水道事業会計及び同病院事業会計の決算並びに関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出する。

# 目 次

1.	審査の対象	1
2.	審査の期間	1
3.	審査の方法	1
4.	審査の結果	1
◆ 水道事業会計		
(1)	収支決算の概要	2
(2)	予算執行状況	2
(3)	経営成績	8
(4)	財務状況	10
(5)	たな卸資産受払状況	14
(6)	地方債現在高	14
(7)	むすび	14
◆ 病院事業会計		
(1)	収支決算の概要	16
(2)	予算執行状況	16
(3)	経営成績	25
(4)	財務状況	26
(5)	地方債現在高	29
(6)	むすび	29

# 平成26年度北秋田市公営企業会計 決 算 審 査 意 見

## 1. 審査の対象

平成26年度 北秋田市水道事業会計  
平成26年度 北秋田市病院事業会計

## 2. 審査の期間

平成27年6月23日 から 平成27年8月21日 まで

## 3. 審査の方法

審査は、各事業の決算書類が地方公営企業法及び関係する諸法令並びに企業の財務に関する諸規則等に準拠して作成され、かつ企業の財政状態及び経営成績が適正に表示されているかを審査するため、会計帳票や証拠書類との照合及び関係職員からの説明聴取により実施した。また、貯蔵品については平成27年3月27日に実地確認した。

## 4. 審査の結果

地方公営企業会計制度の見直しに伴う、会計基準改正があり、平成26年度予算・決算から新公営企業会計基準が適用された中で、事業会計間の表記方法に多少の差異があるものの、審査に付された各事業の決算書類は、適正に作成及び表示されており、計数についてもそれぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、いずれも正確であると認められた。

また、貯蔵品についても保管状況、出納事務はおおむね適正であると認められた。

なお、各事業に係る予算の執行状況及び経営成績の概要と所見等は、次のとおりである。

# 平成26年度 水道事業会計

## 1. 収支決算の概要

### (1) 収益的収支

収益的収入	161,137,572 円
収益的支出	135,537,782 円
差引額	25,599,790 円

### (2) 資本的収支

資本的収入	0 円
資本的支出	30,693,831 円
差引額	△ 30,693,831 円

収益的収支では、収入額から支出額を差し引いた額が25,599,790円となるがこの額から更に消費税相当額 5,403,633円を差し引いた20,196,157円が当年度の純利益となっている。

また、資本的収支では、30,693,831 円の不足となっているが、これについては減債積立金 27,061,791円、過年度分損益勘定留保資金 3,363,000円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 269,040円で補填されている。

## 2. 予算執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### ① 収入

収益的収入については、予算現額157,199,000円に対し、決算額が161,137,572円となっており、執行率は 102.5%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
営業収益	予 算 現 額 (A)	155,132,000	155,441,000	△ 309,000
	決 算 額 (B)	159,051,852	157,699,827	1,352,025
	増 減 額 (B)-(A)	3,919,852	2,258,827	1,661,025
	執 行 率 (B)/(A)	102.5%	101.5%	1.0%
営業外収益	予 算 現 額 (A)	2,065,000	102,000	1,963,000
	決 算 額 (B)	2,085,720	158,102	1,927,618
	増 減 額 (B)-(A)	20,720	56,102	△ 35,382
	執 行 率 (B)/(A)	101.0%	155.0%	△ 54.0%
特別利益	予 算 現 額 (A)	2,000	57,000	△ 55,000
	決 算 額 (B)	0	55,650	△ 55,650
	増 減 額 (B)-(A)	△ 2,000	△ 1,350	△ 650
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	97.6%	△ 97.6%
計	予 算 現 額 (A)	157,199,000	155,600,000	1,599,000
	決 算 額 (B)	161,137,572	157,913,579	3,223,993
	増 減 額 (B)-(A)	3,938,572	2,313,579	1,624,993
	執 行 率 (B)/(A)	102.5%	101.5%	1.0%

## ア. 営業収益について

当年度決算決算額は159,051,852円で、予算現額に対して102.5%の執行率となっているが、そのうち給水収益である水道料金が88.9%を占めている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較		
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率	
給水収益	141,425,296	88.9%	141,367,561	89.6%	57,735	0.04%	
受託工事収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%	
その他営業収益	材料売却収益	0	0.0%	1,870	0.0%	△ 1,870	皆減
	手数料	437,800	0.3%	509,900	0.3%	△ 72,100	△ 14.14%
	加入金	3,560,000	2.2%	3,740,000	2.4%	△ 180,000	△ 4.81%
	雑収益	2,560,627	1.6%	2,483,272	1.6%	77,355	3.12%
	計	6,558,427	4.1%	6,735,042	4.3%	△ 176,615	△ 2.62%
補償金	0	0.0%	2,110,823	1.3%	△ 2,110,823	皆減	
小計	147,983,723	93.0%	150,213,426	95.3%	△ 2,229,703	△ 1.48%	
仮受消費税及び地方消費税	11,068,129	7.0%	7,486,401	4.7%	3,581,728	47.84%	
合計	159,051,852	100.0%	157,699,827	100.0%	1,352,025	0.86%	

## ○ 給水収益

当年度決算額は141,425,296円で、前年度と比較して57,735円の微増となっている。これは給水量578m<sup>3</sup>の増に伴うものである。

## ○ 受託工事収益

当年度決算額は、0円である。

## ○ その他営業収益

当年度決算額は6,558,427円で、対前年度比176,615円(2.62%)の減となっているが、主な要因は、これは加入負担金の減によるものである。

- 補償金  
当年度決算額は、0円である。

#### イ. 営業外収益について

当年度決算額は2,085,720円で、予算現額2,065,000円に対して20,720円(1.0%)の増となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
受取利息及び配当金	76,699	3.7%	115,031	72.8%	△ 38,332	△ 33.32%
長期前受金戻入	1,975,394	94.7%	0	0.0%	1,975,394	皆増
雑収益	31,233	1.5%	41,091	26.0%	△ 9,858	△ 23.99%
小計	2,083,326	99.9%	156,122	98.7%	1,927,204	1,234.42%
仮受消費税及び地方消費税/還付金	2,394	0.1%	1,980	1.3%	414	20.91%
合計	2,085,720	100.0%	158,102	100.0%	1,927,618	1,219.22%

- 受取利息及び配当金

当年度決算額 76,699円は、定期預金利息であり、前年度と比較して38,332円(33.32%)の減となっている。

- 長期前受金戻入

地方公営企業会計制度の改正により設定された項目で、当年度決算額1,975,394円は、建物及び構築物の減価償却費のうち補助金等相当分を収益化したものである。

- 雑収益

当年度決算額31,233円は、前年度と比較して9,858円(23.99%)の減となっているが、これは工事台帳代金の減によるものである。

#### ウ. 特別利益について

当年度決算額は、0円である。

## ② 支出

収益的支出については、予算現額146,450,000円に対し、決算額が135,537,782円となっており、執行率は92.5%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
営業費用	予算現額 (A)	130,990,000	140,885,000	△ 9,895,000
	決算額 (B)	127,910,476	130,638,139	△ 2,272,663
	不用額 (A)-(B)	3,079,524	10,246,861	△ 7,167,337
	執行率 (B)/(A)	97.6%	92.7%	4.9%
営業外費用	予算現額 (A)	10,467,000	7,073,000	3,394,000
	決算額 (B)	4,883,721	6,995,119	△ 2,111,398
	不用額 (A)-(B)	5,583,279	77,881	5,505,398
	執行率 (B)/(A)	46.7%	98.9%	△ 52.2%
特別損失	予算現額 (A)	2,993,000	2,900,000	93,000
	決算額 (B)	2,743,585	3,055,745	△ 312,160
	不用額 (A)-(B)	249,415	△ 155,745	405,160
	執行率 (B)/(A)	91.7%	105.4%	△ 13.7%

(単位:円、%)

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
予 備 費	予 算 現 額 (A)	2,000,000	2,000,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	不 用 額 (A)-(B)	2,000,000	2,000,000	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
計	予 算 現 額 (A)	146,450,000	152,858,000	△ 6,408,000
	決 算 額 (B)	135,537,782	140,689,003	△ 5,151,221
	不 用 額 (A)-(B)	10,912,218	12,168,997	△ 1,256,779
	執 行 率 (B)/(A)	92.5%	92.0%	0.5%

## ア. 営業費用について

当年度決算額は127,910,476円で、予算現額に対して97.6%の執行率となっており、その内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
原水及び浄水費	27,906,519	21.8%	24,732,844	18.9%	3,173,675	12.83%
配水及び給水費	22,871,410	17.9%	29,706,678	22.7%	△ 6,835,268	△ 23.01%
受託工事費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
総係費	34,403,450	26.9%	34,732,118	26.6%	△ 328,668	△ 0.95%
減価償却費	39,701,938	31.0%	39,258,045	30.1%	443,893	1.13%
資産減耗費	0	0.0%	43,125	0.0%	△ 43,125	皆減
その他営業費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
小計	124,883,317	97.6%	128,472,810	98.3%	△ 3,589,493	△ 2.79%
仮払消費税及び地方消費税	3,027,159	2.4%	2,165,329	1.7%	861,830	39.80%
合計	127,910,476	100.0%	130,638,139	100.0%	△ 2,727,663	△ 2.09%

## ○ 原水及び浄水費

当年度決算額27,906,519円は、前年度と比較して3,173,675円(12.83%)の増となっているが、主な要因は、監視制御装置無停電装置取替委託料の増である。

## ○ 配水及び給水費

当年度決算額22,871,410円は、前年度と比較して6,835,268円(23.01%)の減となっているが、主な要因は、メータ更新個数の減に伴う委託料及び修繕費の減である。

## ○ 受託工事費

当年度決算額は、0円である。

## ○ 総係費

当年度決算額34,403,450円は、前年度と比較して328,668円(0.95%)の減となっているが、主な要因は、前年度で生じた補償費が、当年度には無かったことによるものである。

## ○ 減価償却費

当年度決算額39,701,938円は、建物や構築物、機械・装置など有形固定資産減価償却費であり、前年度と比較して443,893円(1.13%)の増となっている。

○ 資産減耗費  
当年度決算額は、0円である。

○ その他営業費用  
当年度決算額は、0円である。

#### イ. 営業外費用について

当年度決算額4,883,721円は、予算現額に対して46.7%の執行率でありそのうち支払利息及び企業債取扱諸費（企業債利子償還金）が50.0%を占めている。なお、営業外費用の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
支払利息及び企業債取扱諸費	2,440,621	50.0%	3,000,319	42.9%	△ 559,698	△ 18.65%
雑支出	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
小計	2,440,621	50.0%	3,000,319	42.9%	△ 559,698	△ 18.65%
消費税及び地方消費税中間納付	2,443,100	50.0%	3,994,800	57.1%	△ 1,551,700	△ 38.84%
合計	4,883,721	100.0%	6,995,119	100.0%	△ 2,111,398	△ 30.18%

○ 支払利息及び企業債取扱諸費  
当年度決算額2,440,621円は、企業債に係る利息償還金で、前年度と比較して559,698円(18.65%)の減となっている。

○ 雑支出  
当年度決算額は、0円である。

#### ウ. 特別損失について

当年度決算額2,743,585円は、予算現額に対して91.7%の執行率となっておりその内容及び前年度との比較状況は次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
固定資産売却損	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
過年度損益修正損	2,546,954	92.8%	2,910,234	95.2%	△ 363,280	△ 12.48%
小計	2,546,954	92.8%	2,910,234	95.2%	△ 363,280	△ 12.48%
仮払消費税及び地方消費税	196,631	7.2%	145,511	4.8%	51,120	35.13%
合計	2,743,585	100.0%	3,055,745	100.0%	△ 312,160	△ 10.22%

○ 固定資産売却損  
当年度決算額は、0円である。

○ 過年度損益修正損  
当年度決算額2,546,954円は、過年度分料金漏水軽減(253,802円)及び不納欠損金(2,293,152円)である。

## (2) 資本的収入及び支出

### ① 収入

資本的収入は、予算現額 1,000円に対し、決算額は0円となっている。

(単位:円、%)

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
固定資産売却 代金及び補償 費	予 算 現 額 (A)	1,000	4,001,000	△ 4,000,000
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	△ 1,000	△ 4,001,000	4,000,000
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%

### ② 支出

資本的支出は、予算現額30,836,000円に対し、決算額は30,693,831円となっており、執行率は99.5%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
建設改良費	予 算 現 額 (A)	3,774,000	14,337,000	△ 10,563,000
	決 算 額 (B)	3,632,040	7,467,617	△ 3,835,577
	不 用 額 (A)-(B)	141,960	6,869,383	△ 6,727,423
	執 行 率 (B)/(A)	96.2%	52.1%	44.1%
企業債償還金	予 算 現 額 (A)	27,062,000	26,503,000	559,000
	決 算 額 (B)	27,061,791	26,502,093	559,698
	不 用 額 (A)-(B)	209	907	△ 698
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%
投 資	予 算 現 額 (A)	0	0	0.0%
	決 算 額 (B)	0	0	0.0%
	不 用 額 (A)-(B)	0	0	0.0%
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
計	予 算 現 額 (A)	30,836,000	40,840,000	△ 10,004,000
	決 算 額 (B)	30,693,831	33,969,710	△ 3,275,879
	不 用 額 (A)-(B)	142,169	6,870,290	△ 6,728,121
	執 行 率 (B)/(A)	99.5%	83.2%	16.3%

#### ア. 建設改良費について

当年度決算額3,632,040円は、予算現額に対して96.2%の執行率となっておりその内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
水道建設事業費	2,880,000	79.3%	4,630,000	62.0%	△ 1,750,000	△ 37.80%
営業設備費	483,000	13.3%	2,482,017	33.2%	△ 1,999,017	△ 80.54%
小計	3,363,000	92.6%	7,112,017	95.2%	△ 3,749,017	△ 52.71%
仮払消費税及び地方消費税	269,040	7.4%	355,600	4.8%	△ 86,560	△ 24.34%
合計	3,632,040	100.0%	7,467,617	100.0%	△ 3,835,577	△ 51.36%

○ 水道建設事業費

当年度決算額 2,880,000円は、対前年比1,750,000円（37.8%）の減となっているが、その要因は新規配水管布設工事の減である。

○ 営業設備費

当年度決算額483,000円は、対前年度比80.54%の減となっているが、これは昨年度において広報車両を新規購入したことによるものである。

イ. 企業債償還金について

企業債償還金については、予算現額に対し100.0%の執行率となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
企業債償還金	27,061,791	100.0%	26,502,093	100.0%	559,698	2.11%
合計	27,061,791	100.0%	26,502,093	100.0%	559,698	2.11%

○ 企業債償還金

当年度決算額27,061,791円は、企業債の元金償還金であり、前年度と比較して2.11%の増となっている。

ウ. 投資について

投資については、当年度決算額0円である。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
投資	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

### 3. 経営成績（消費税抜き）

#### (1) 事業損益

当年度の経営では、20,196,157円の純利益を生じており、前年度と比較して25.92%の増となっている。なお、その内容は次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
営業収益 A	147,983,723	150,213,426	△ 2,229,703	△ 1.48%
うち受託工事収益	0	0	0	0.00%
営業費用 B	124,883,317	128,472,810	△ 3,589,493	△ 2.79%
うち受託工事費用	0	0	0	0.00%
営業利益 (A-B) C	23,100,406	21,740,616	1,359,790	6.25%
営業外収益 D	2,083,326	156,122	1,927,204	1,234.42%
営業外費用 E	2,440,621	3,000,319	△ 559,698	△ 18.65%
営業外利益 (D-E) F	△ 357,295	△ 2,844,197	2,486,902	△ 87.44%
経常利益 (C+F) G	22,743,111	18,896,419	3,846,692	20.36%
特別利益 H	0	53,000	△ 53,000	皆減
特別損失 I	2,546,954	2,910,234	△ 363,280	△ 12.48%
特別利益 (H-I) J	△ 2,546,954	△ 2,857,234	310,280	△ 10.86%
当年度純利益 (G+J) K	20,196,157	16,039,185	4,156,972	25.92%

(注) 当年度純利益 (K) 欄が「△」の場合は、純損失を示す。

(単位:円、%)

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
前年度未処分利益剰余金 L	16,133,427	23,194,242	△ 7,060,815	△ 30.44%
前年度利益剰余金処分額 M	0	23,100,000	△ 23,100,000	皆減
繰越利益剰余金年度末残高 (L-M) N	16,133,427	94,242	16,039,185	17,019.15%
当年度純利益 K	20,196,157	16,039,185	4,156,972	25.92%
当年度未処分利益剰余金 (N+K) O	36,329,584	16,133,427	20,196,157	125.18%
累積欠損金(O欄が△の場合)	0	0	0	0.00%

(注) L、N及びO欄が「△」の場合は、欠損金を示す。

## (2) 業務量

年度末給水人口及び総配水量など主な業務量は、次のとおりである。

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度比較	
			増減	増減率
年度末給水人口	9,495人	9,512人	△17人	△ 0.18%
普及率	90.51%	89.78%	0.73%	0.81%
年間総配水量	1,356,358m <sup>3</sup>	1,386,190m <sup>3</sup>	△ 29,832m <sup>3</sup>	△ 2.15%
有効水量	1,094,370m <sup>3</sup>	1,098,992m <sup>3</sup>	△ 4,622m <sup>3</sup>	△ 0.42%
年間有収水量	1,086,370m <sup>3</sup>	1,085,792m <sup>3</sup>	578m <sup>3</sup>	0.05%
年間無収水量	8,000m <sup>3</sup>	13,200m <sup>3</sup>	△ 5,200m <sup>3</sup>	△ 39.39%
無効水量	261,988m <sup>3</sup>	287,198m <sup>3</sup>	△ 25,210m <sup>3</sup>	△ 8.78%
年間有収率	80.09%	78.33%	1.76%	2.25%
1日平均配水量	3,716m <sup>3</sup>	3,798m <sup>3</sup>	△ 82m <sup>3</sup>	△ 2.16%
1日平均給水量	2,976m <sup>3</sup>	2,975m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup>	0.03%
1日最大配水量	4,320m <sup>3</sup>	4,520m <sup>3</sup>	△ 200m <sup>3</sup>	△ 4.42%

※ 1日配水能力 6,000m<sup>3</sup>

## (3) 供給単価と給水原価

当年度の1m<sup>3</sup>当たりの供給単価は130.18円、給水原価は115.38円であり、その差額14.80円が販売利益となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度比較		類似団体指標 (平成25年度)
			増減額	増減率	
供給単価	130.18	130.20	△ 0.02	△ 0.02%	182.88
給水原価	115.38	121.09	△ 5.71	△ 4.72%	198.79
差引	14.80	9.11	5.69	62.46%	△ 15.91

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。(北秋田市上水道類型: d8)

#### (4) 施設の稼働状況

水道施設の利用状況は、次のとおりである。

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度比較		類似団体指標 (平成25年度)
			増減	増減率	
施設利用率	61.93%	63.30%	△ 1.37%	△ 2.16%	49.79%
最大稼働率	72.00%	75.33%	△ 3.33%	△ 4.42%	68.78%
負荷率	68.89%	65.82%	3.07%	4.66%	72.39%

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。(北秋田市上水道類型： d8 )

(参考) ※ 施設利用率 = 1日平均配水量 / 1日配水能力 × 100  
 ※ 最大稼働率 = 1日最大配水量 / 1日配水能力 × 100  
 ※ 負荷率 = 1日平均給水量 / 1日最大配水量 × 100  
 (1日配水能力=6,000m<sup>3</sup>)

#### 4. 財務状況

##### (1) 資産及び負債・資本 (消費税抜き)

当年度の資産及び負債・資本の状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較		
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率	
資産	固定資産 A	705,673,984	62.3%	818,339,512	70.6%	△ 112,665,528	△ 13.8%
	流動資産 B	427,211,969	37.7%	341,398,530	29.4%	85,813,439	25.1%
	うち現金預金	413,632,584	36.5%	321,146,390	27.7%	92,486,194	28.8%
	うち未収金	12,665,690	1.1%	19,939,575	1.7%	△ 7,273,885	△ 36.5%
	繰延勘定 C	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計 (A~C) D	1,132,885,953	100.0%	1,159,738,042	100.0%	△ 26,852,089	△ 2.3%	
負債	固定負債 E	100,739,838	8.9%	5,000,000	0.4%	95,739,838	1,914.8%
	流動負債 F	9,780,210	0.9%	1,464,681	0.1%	8,315,529	567.7%
	繰延収益 G	62,697,563	5.5%	0	0.0%	62,697,563	皆増
	計 (E+F+G) H	173,217,611	15.3%	6,464,681	0.6%	166,752,930	2,579.4%
資本	資本金 I	786,898,920	69.5%	882,638,758	76.1%	△ 95,739,838	△ 10.8%
	うち自己資本金	786,898,920	69.5%	759,837,129	65.5%	27,061,791	3.6%
	剰余金 J	172,769,422	15.3%	270,634,603	23.3%	△ 97,865,181	△ 36.2%
	計 (I+J) K	959,668,342	84.7%	1,153,273,361	99.4%	△ 193,605,019	△ 16.8%
負債・資本 計 (H+K)	1,132,885,953	100.0%	1,159,738,042	100.0%	△ 26,852,089	△ 2.3%	

##### ○ 資産

流動資産決算額が427,211,969円で前年度比25.1%増となっているものの、固定資産決算額が705,673,984円で前年度比で13.8%の減となっており、資産全体では決算額1,132,885,953円で前年度比 2.3%の減となっている。

##### ○ 負債

地方公営企業会計制度の改正により、資本の借入資本金から負債の固定負債に企業債95,739,838円が振替えられ、同様に資本剰余金から負債の繰延収益に62,697,563円振替えられた。このため負債全体で2,579.4%の増となっている。

##### ○ 資本

地方公営企業会計制度の改正により、資本の借入資本金及び資本剰余金が負債に振替えられたため、資本全体で16.8%の減となっている。

## (2) 主要財務指標（消費税抜き）

当年度の主要財務指標（比率）の状況は、次のとおりである。

### ① 流動比率

平成26年度		平成25年度 比 率	類似団体指標 (平成25年度)						
算 式	比 率								
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>流動資産</td></tr> <tr><td>427,211,969</td></tr> <tr><td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td>流動負債</td></tr> <tr><td>9,780,210</td></tr> </table>	流動資産	427,211,969			流動負債	9,780,210	4,368.13%	23,308.73%	1,001.47%
流動資産									
427,211,969									
流動負債									
9,780,210									

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。（北秋田市上水道類型： d8 ）

※ 流動比率は、1年以内に「現金化できる資産」と「支払わなければならない負債」とを比較するもので、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれる。したがって、理想的な比率としては、200%以上であるといわれている。

### ② 酸性試験比率（当座比率）

平成26年度		平成25年度 比 率	類似団体指標 (平成25年度)									
算 式	比 率											
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">現金預金 413,632,584</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">+</td> <td style="border: 1px solid black;">未収金 12,665,690</td> </tr> <tr><td colspan="3" style="border-top: 1px solid black;"></td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black;">流動負債 9,780,210</td> </tr> </table>	現金預金 413,632,584	+	未収金 12,665,690				流動負債 9,780,210			4,358.78%	23,287.39%	990.61%
現金預金 413,632,584	+	未収金 12,665,690										
流動負債 9,780,210												

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。（北秋田市上水道類型： d8 ）

※ 酸性試験比率は当座比率の別名で、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化しうる未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。

### ③ 自己資本構成比率

平成26年度		平成25年度 比 率	類似団体指標 (平成25年度)									
算 式	比 率											
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">自己資本金 786,898,920</td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">+</td> <td style="border: 1px solid black;">剰余金 172,769,422</td> </tr> <tr><td colspan="3" style="border-top: 1px solid black;"></td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black;">負債・資本合計 1,132,885,953</td> </tr> </table>	自己資本金 786,898,920	+	剰余金 172,769,422				負債・資本合計 1,132,885,953			84.71%	88.85%	66.31%
自己資本金 786,898,920	+	剰余金 172,769,422										
負債・資本合計 1,132,885,953												

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。（北秋田市上水道類型： d8 ）

※ 自己資本構成比率は、総資本（負債・資本合計）に占める自己資本（自己資本金+剰余金）の割合を示すもので、比率が高いほど経営の安全性が大きいものといえる。

#### ④ 経常収支比率

平成26年度		比率	平成25年度 比率	類似団体指標 (平成25年度)
算式				
(経常収益)		117.86%	114.37%	106.41%
営業収益	営業外収益			
147,983,723	2,083,326			
+				
(経常費用)				
営業費用	営業外費用			
124,883,317	2,440,621			
+				

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。(北秋田市上水道類型： d8 )

※ 経常収支比率は、経常収益対経常費用比率とも言われ、経常収益（営業収益+営業外収益）と経常費用（営業費用+営業外費用）を対比したもので、100%を超えることが目安となり、100%を超えるほど収益率が高い。

#### ⑤ 営業収支比率

平成26年度		比率	平成25年度 比率	類似団体指標 (平成25年度)
算式				
営業収益	受託工事収益	118.50%	116.92%	107.22%
147,983,723	0			
-				
営業費用	受託工事費用			
124,883,317	0			
-				

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。(北秋田市上水道類型： d8 )

※ 営業収支比率は、業務活動によってもたらされた営業収益とそれに要した営業費用とを対比することによって、業務活動の能率を示すもので、これによって経営の成否が判断される。比率が100%未満の場合は、営業収益で営業費用を賄えないことを示すため、経営の見直しなどが必要となる。

#### ⑥ 現金預金比率

平成26年度		比率	平成25年度 比率	類似団体指標 (平成25年度)
算式				
現金預金		4,229.28%	21,926.03%	/
413,632,584				
÷				
流動負債				
9,780,210				

※ 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。

### ⑦ 主な費用構造比率

区分		平成26年度		平成25年度		類似団体指標 (平成25年度)
		決算額	比率	決算額	比率	
費用	職員 給与 と 費	① 給与	20,541,500	28.87%	19,559,895	17.34%
		② 手当	10,373,698		10,272,887	
		③ 賃金、報酬等	3,075,661		3,652,713	
		④ 法定福利費	6,832,819		6,501,806	
		計	40,823,678		39,987,301	
	企業債利息	2,440,621	1.73%	3,000,319	2.12%	12.40%
	減価償却費	39,701,938	28.07%	39,258,045	27.77%	42.54%
企業債償還元金	27,061,791	19.14%	26,502,093	18.75%	31.76%	
収益	給水収益	141,425,296		141,367,561		

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、本市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。なお、比率算定は国が示す比率算定区分に従い、各費用をそれぞれの費目に分類したうえで算定している。

※ 費用構造比率は、給水収益（水道料金）に対する各費用の比率で、比率が高い場合には経営の見直しや費用等の節減を図る判断基準のひとつとなる。

### (3) 収納状況（消費税込み）

#### ① 当年度収納状況（消費税込み）

(単位:円、%)

区分		調定額	収納額	不納欠損額	未収額	収納率	
営業収益	給水収益	現年度	152,055,860	148,114,345	0	3,941,515	97.41%
		過年度	12,623,430	1,464,910	2,476,605	8,681,915	11.60%
		計	164,679,290	149,579,255	2,476,605	12,623,430	90.83%
	受託工事 収益	現年度	0	0	0	0	0.00%
		過年度	0	0	0	0	0.00%
		計	0	0	0	0	0.00%
	その他 営業収益	現年度	6,995,992	6,995,992	0	0	100.00%
		過年度	0	0	0	0	0.00%
		計	6,995,992	6,995,992	0	0	100.00%
	小計	現年度	159,051,852	155,110,337	0	3,941,515	97.52%
		過年度	12,623,430	1,464,910	2,476,605	8,681,915	11.60%
		計	171,675,282	156,575,247	2,476,605	12,623,430	91.20%
営業外収益	現年度	152,585	110,325	0	42,260	72.30%	
	過年度	0	0	0	0	0.00%	
	計	152,585	110,325	0	42,260	72.30%	
特別利益	現年度	0	0	0	0	0.00%	
	過年度	0	0	0	0	0.00%	
	計	0	0	0	0	0.00%	
収益的収入計	現年度	159,204,437	155,220,662	0	3,983,775	97.50%	
	過年度	12,623,430	1,464,910	2,476,605	8,681,915	11.60%	
	計	171,827,867	156,685,572	2,476,605	12,665,690	91.19%	
資本的収入計	現年度	0	0	0	0	0.00%	
	過年度	0	0	0	0	0.00%	
	計	0	0	0	0	0.00%	
合計	現年度	159,204,437	155,220,662	0	3,983,775	97.50%	
	過年度	12,623,430	1,464,910	2,476,605	8,681,915	11.60%	
	計	171,827,867	156,685,572	2,476,605	12,665,690	91.19%	

## ② 未収額内訳

(単位:円、%)

区分		未収額			備考
			うち水道料金以外	うち水道料金	
平成26年度	現年度	3,983,775	42,260	3,941,515	
	過年度	8,681,915	0	8,681,915	
	計	12,665,690	42,260	12,623,430	
平成25年度	現年度	3,678,350	0	3,678,350	
	過年度	9,414,965	0	9,414,965	
	計	13,093,315	0	13,093,315	
対前年度比較	現年度	305,425	42,260	263,165	
	過年度	△ 733,050	0	△ 733,050	
	計	△ 427,625	42,260	△ 469,885	

## 5. たな卸資産受払状況（消費税抜き）

当年度のたな卸資産の受払状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前年度末残高	本年度			本年度末残高
		受入高	払出高	減耗費	
材料(押輸他)	52,565	0	0	0	52,565
量水器	260,000	4,857,260	3,773,130	483,000	861,130
計	312,565	4,857,260	3,773,130	483,000	913,695

## 6. 地方債現在高

前々年度、前年度及び当年度末の地方債現在高は、次のとおりである。

(単位:千円)

区 分	平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	年度末現在高	対前年度増減率	年度末現在高	対前年度増減率	年度末現在高	対前年度増減率
水道事業会計	95,740	△ 22.04%	122,802	△ 17.75%	149,304	△ 14.81%

## 7. むすび

以上、予算執行状況及び財政状況、経営成績等についてその内容を審査した結果、経営成績では20,196千円が当年度の純利益となっており、前年度と比較して4,157千円の増益となっている。その主な原因としては、水道メーターの更新経費の減少などによるものである。供給単価に対する給水原価のバランスなどの推移からみて経営成績は安定的に推移しているものと判断する。

また、業務内容については、年間総配水量が1,356,358 m<sup>3</sup>で、前年度と比較して29,832 m<sup>3</sup> (2.15%) の減となっている中で、無効水量が25,210 m<sup>3</sup> (8.78%) 減少していることは、前年度指摘の維持管理面の課題に取り組まれたものと認められる。今後も有効

・有収水量の向上にむけ配水本・支管等の日常的調査、点検の徹底による漏水防止対策の推進に努められたい。

財務状況では、流動資産のうち現金・預金が対前年度比較で92,486千円（28.8%）増の413,633千円となったものの、資産のうち固定資産が対前年度比112,666千円（13.8%）減となっており、資産全体では26,852千円減の1,132,886千円となっている。また、一方の負債・資本では、新会計基準の施行に伴い大幅な移行が行われ、負債においては、資本から企業債残高95,740千円が固定負債に加えられ、資本剰余金62,698千円が繰延収益に振替されたため、負債全体では166,753千円（2,579.4%）増の173,218千円となっている。資本では剰余金が97,865千円（36.2%）減の172,769千円、資本金が95,740千円（10.8%）減の786,899千円であり、資本全体では193,605千円（16.8%）減の959,668千円となっている。

結果、財務状況を主な指標として判断すると、企業の支払い能力を示す流動比率では流動資産427,212千円に対し、流動負債9,780千円となっていることから十分であり、財務の長期健全性の良否を示す自己資本構成比率84.71%（前年度88.85%）となり、更に営業収支比率118.50%（前年度116.92%）などから、おおむね良好な状態で推移しているものと見ております。

しかしながら、水道事業経営の根幹をなす水道料金の未収額が12,623千円で対前年度比470千円減少したものの、不納欠損額において2,477千円で対前年度比84千円増となって年次増加傾向にあることから、水道事業経営が水道利用者の負担により賄われていることに鑑み、単に費用対効果に止まらないという観点から、長期滞納者等に対する関係諸規程に基づく厳正な対処を行うと同時に、長期滞納に至る前のきめ細かな取組みを強化し、収納体制の再整備が急務と判断する。

【参考】

①水道事業類似団体類型区分

給水人口別区分	水源別区分	有収水量密度別区分
1 30万人以上	1 ダ → ダムを主とする	1 以上 → 全国平均以上
2 15万人～30万人	2 受 → 受水を主とする	2 未満 → 全国平均未満
3 10万人～15万人	3 表 → 表流水	
4 5万人～10万人	4 他 → その他	
5 3万人～5万人		
6 1.5万人～3万人		
7 1万人～1.5万人		
8 5千人～1万人		
9 5千人未満		

北秋田市上水道類型

区分	該当	類型
給水人口別区分	8	d8
水源別区分	4	
有収水量密度別区分	2	

## 平成26年度 病院事業会計

### 1. 収支決算の概要

#### (1) 収益的収支

収益的収入	577,542,058円
収益的支出	934,661,841円
差引額	△357,119,783円

#### (2) 資本的収支

資本的収入	181,277,986円
資本的支出	181,277,986円
差引額	0円

収益的収支では、収入額から支出額を差し引いた額が△357,119,783円となり、この額が当年度の純損失となっている。

### 2. 予算執行状況

#### (1) 収益的収入及び支出

##### ① 収入

収益的収入については、予算現額577,589,000円に対し、決算額が577,542,058円となっており、執行率は99.9%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
医 業 収 益	予 算 現 額 (A)	1,000	1,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	△ 1,000	△ 1,000	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
医 業 外 収 益	予 算 現 額 (A)	577,587,000	515,722,000	61,865,000
	決 算 額 (B)	577,542,058	515,718,215	61,823,843
	増 減 額 (B)-(A)	△ 44,942	△ 3,785	△ 41,157
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%
特 別 収 益	予 算 現 額 (A)	1,000	1,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	△ 1,000	△ 1,000	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
計	予 算 現 額 (A)	577,589,000	515,724,000	61,865,000
	決 算 額 (B)	577,542,058	515,718,215	61,823,843
	増 減 額 (B)-(A)	△ 46,942	△ 5,785	△ 41,157
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%

## ア. 医業収益について

指定管理者制度により、医業収益は 0円となっている。

## イ. 医業外収益について

当年度決算額は577,542,058円で、予算現額 に対して 99.9%の執行率となっているが、そのうち補助金と負担金が86.6%を占めている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
受取利息配当金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
国・県補助金	10,750,000	1.9%	11,134,000	2.2%	△ 384,000	△ 3.45%
他会計補助金	273,873,536	47.4%	264,516,768	51.3%	9,356,768	3.54%
他会計負担金	215,202,381	37.3%	217,479,915	42.2%	△ 2,277,534	△ 1.05%
長期前受金戻入	60,696,646	10.5%	0	0.0%	0	0.00%
その他	16,209,043	2.8%	21,511,936	4.2%	△ 5,302,893	△ 24.65%
計	16,209,043	2.8%	21,511,936	4.2%	△ 5,302,893	△ 24.65%
小計	576,731,606	99.9%	514,642,619	99.8%	62,088,987	12.06%
仮受消費税及び地方消費税	810,452	0.1%	1,075,596	0.2%	△ 265,144	△ 24.65%
合計	577,542,058	100.0%	515,718,215	100.0%	61,823,843	11.99%

## ○ 受取利息配当金

当年度、前年度とも決算額は0円である。

○ 国・県補助金

当年度決算額は、10,750,000円となっている。

○ 他会計補助金

当年度一般会計補助金決算額は、273,873,536円となっている。

○ 他会計負担金

当年度一般会計負担金決算額は、215,202,381円となっている。

○ 長期前受金戻入

地方公営企業会計制度の改正により設定された項目で、建物及び構築物の減価償却相当分60,696,646円となっている。

○ その他医業外収益

当年度決算額16,209,043円は、前年度指定管理料の精算金である。

ウ. 特別利益について

特別利益は、予算現額1,000円に対し、決算額は0円となっている。

② 支出

収益的支出については、予算現額934,710,000円に対し、決算額が934,661,841円となっており、執行率は99.9%となっている。

収益的支出の当年度内容及び前年度との比較状況は次のとおりである。

(単位:円、%)

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
医 業 費 用	予 算 現 額 (A)	790,679,000	727,745,000	62,934,000
	決 算 額 (B)	790,634,876	727,741,499	62,893,377
	不 用 額 (A)-(B)	44,124	3,501	40,623
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%
医 業 外 費 用	予 算 現 額 (A)	144,028,000	145,659,000	△ 1,631,000
	決 算 額 (B)	144,026,965	145,658,022	△ 1,631,057
	不 用 額 (A)-(B)	1,035	978	57
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%
特 別 損 失	予 算 現 額 (A)	2,000	2,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	不 用 額 (A)-(B)	2,000	2,000	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
予 備 費	予 算 現 額 (A)	1,000	1,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	不 用 額 (A)-(B)	1,000	1,000	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
計	予 算 現 額 (A)	934,710,000	873,407,000	61,303,000
	決 算 額 (B)	934,661,841	873,399,521	61,262,320
	不 用 額 (A)-(B)	48,159	7,479	40,680
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%

## ア. 医業費用について

医業費用の決算額790,634,876円は、予算現額に対して99.9%の執行率となっており、その内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
経費	379,369,046	48.0%	384,559,510	52.8%	△ 5,190,464	△ 1.35%
旅費	7,200	0.0%	27,580	0.0%	△ 20,380	△ 73.89%
需用費	13,846	0.0%	53,977	0.0%	△ 40,131	△ 74.35%
役務費	261,000	0.1%	318,000	0.1%	△ 57,000	△ 17.92%
委託料	250,000,000	65.9%	252,380,953	65.6%	△ 2,380,953	△ 0.94%
負担金補助及び交付金	129,087,000	34.0%	131,779,000	34.3%	△ 2,692,000	△ 2.04%
小計	379,369,046	100.0%	384,559,510	100.0%	△ 5,190,464	△ 1.35%
減価償却費	391,243,845	49.5%	330,547,199	45.4%	60,696,646	18.36%
資産減耗費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
小計	770,612,891	97.5%	715,106,709	98.3%	55,506,182	7.76%
仮払消費税及び地方消費税	20,021,985	2.5%	12,634,790	1.7%	7,387,195	58.47%
合計	790,634,876	100.0%	727,741,499	100.0%	62,893,377	8.64%

### ○ 経費

委託料（指定管理料）の当年度決算額が250,000,000円で、経費全体の65.9%を占めている。

### ○ 減価償却費

当年度決算額 391,243,845円は、建物や構築物、器械備品など有形固定資産減価償却費である。

### ○ 資産減耗費

当年度、前年度とも決算額0円ある。

## イ. 医業外費用について

医業外費用の決算額144,026,965円は、予算現額に対して 99.9%の執行率となっている。また、雑支出には仮受・仮払消費税及び地方消費税の精算金19,211,533円を費用化しているため、その額の控除後が医業外費用決算額となっている。

なお、医業外費用の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
支払利息及び企業債取扱諸費	117,454,381	81.6%	118,523,915	81.4%	△ 1,069,534	△ 0.90%
雑支出	45,784,117	31.8%	38,693,301	26.6%	7,090,816	18.33%
小計	163,238,498	113.3%	157,217,216	107.9%	6,021,282	3.83%
消費税及び地方消費税(精算分)	△ 19,211,533	△ 13.3%	△ 11,559,194	△ 7.9%	△ 7,652,339	66.20%
合計	144,026,965	100.0%	145,658,022	100.0%	△ 1,631,057	△ 1.12%

○ 支払利息及び企業債取扱諸費

当年度決算額117,454,381円は、企業債に係る利息償還金である。

○ 雑支出

当年度決算額45,784,117円は、仮受・仮払消費税及び地方消費税の精算金19,211,533円、控除対象外消費税償却費26,572,584円である。

ウ. 特別損失について

特別損失は、予算現額2,000円に対し、決算額は0円となっている。

エ. 予備費について

予算現額1,000円に対し、決算額は0円となっている。

(2) 資本的収入及び支出

① 収入

資本的収入は、予算現額 181,279,000円に対し、決算額は 181,277,986円となっており、執行率は 99.9%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区 分	平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
企 業 債	予 算 現 額 (A)	0	0
	決 算 額 (B)	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	0	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%
一般会計出資金	予 算 現 額 (A)	97,799,000	31,587,000
	決 算 額 (B)	97,799,322	31,586,735
	増 減 額 (B)-(A)	322	△ 265
	執 行 率 (B)/(A)	100.0%	99.9%
他会計負担金	予 算 現 額 (A)	83,480,000	23,832,000
	決 算 額 (B)	83,478,664	23,830,533
	増 減 額 (B)-(A)	△ 1,336	△ 1,467
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%
他会計借入金	予 算 現 額 (A)	0	0
	決 算 額 (B)	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	0	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%
国庫補助金	予 算 現 額 (A)	0	0
	決 算 額 (B)	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	0	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
県補助金	予算現額 (A)	0	13,756,000	△ 13,756,000
	決算額 (B)	0	13,756,000	△ 13,756,000
	増減額 (B)-(A)	0	0	0
	執行率 (B)/(A)	0.0%	100.0%	△ 100.0%
財産収入	予算現額 (A)	0	0	0
	決算額 (B)	0	0	0
	増減額 (B)-(A)	0	0	0
	執行率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
緒収入	予算現額 (A)	0	0	0
	決算額 (B)	0	0	0
	増減額 (B)-(A)	0	0	0
	執行率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	予算現額 (A)	181,279,000	69,175,000	112,104,000
	決算額 (B)	181,277,986	69,173,268	112,104,718
	増減額 (B)-(A)	△ 1,014	△ 1,732	718
	執行率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%

ウ. 企業債について

当年度の企業債の執行額は、0円である。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
企業債	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

エ. 出資金について

当該出資金は、予算現額に対して100.0%の執行率となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
一般会計出資金	97,799,322	100.0%	31,586,735	100.0%	66,212,587	209.62%
合計	97,799,322	100.0%	31,586,735	100.0%	66,212,587	209.62%

○ 一般会計出資金

当年度決算額97,799,322円は、企業債元金償還金充当分で、対前年度比66,212,587円209.6%の増となっている。

オ. 負担金について

当該負担金は、予算現額に対して100.0%の執行率となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
他会計負担金	83,478,664	100.0%	23,830,533	100.0%	59,648,131	250.30%
合計	83,478,664	100.0%	23,830,533	100.0%	59,648,131	250.30%

## ○ 他会計負担金

当年度決算額83,478,664円は、企業債元金償還金に対する一般会計からの負担金である。

## カ. 借入金について

当年度の借入金は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
他会計借入金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

## キ. 国庫補助金について

当年度の国庫補助金は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

## ク. 県補助金について

当年度の県補助金は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
県補助金	0	0.0%	13,756,000	100.0%	△ 13,756,000	皆減
合計	0	0.0%	13,756,000	100.0%	△ 13,756,000	皆減

ケ. 財産収入について

当年度の財産収入は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
固定資産売却代金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
小計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
仮受消費税及び地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

コ. 諸収入について

当年度の諸収入は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
緒収入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
小計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
仮受消費税及び地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

② 支出

資本的支出は、予算現額 181,279,000円に対し、決算額は 181,277,986円となっており、執行率は99.9%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成26年度 (ア)	平成25年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
建設改良費	予 算 現 額 (A)	1,000	13,757,000	△ 13,756,000
	決 算 額 (B)	0	13,756,050	△ 13,756,050
	不 用 額 (A)-(B)	1,000	950	50
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	99.9%	△ 99.9%
企業債償還金	予 算 現 額 (A)	181,278,000	55,418,000	125,860,000
	決 算 額 (B)	181,277,986	55,417,218	125,860,768
	不 用 額 (A)-(B)	14	782	△ 768
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%
合 計	予 算 現 額 (A)	181,279,000	69,175,000	112,104,000
	決 算 額 (B)	181,277,986	69,173,268	112,104,718
	不 用 額 (A)-(B)	1,014	1,732	△ 718
	執 行 率 (B)/(A)	99.9%	99.9%	0.0%

ア. 建設改良費について

当年度の建設改良費決算額は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
建設改良費	0	0.0%	13,101,000	95.2%	△ 13,101,000	皆減
小計	0	0.0%	13,101,000	95.2%	△ 13,101,000	皆減
仮払消費税及び地方消費税	0	0.0%	655,050	4.8%	△ 655,050	皆減
合計	0	0.0%	13,756,050	100.0%	△ 13,756,050	皆減

#### イ. 企業債償還金について

企業債償還金は、決算額181,277,986円で、予算現額に対し 99.9%の執行率となっている。

(単位:円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
企業債償還金	181,277,986	100.0%	55,417,218	100.0%	125,860,768	227.11%
合計	181,277,986	100.0%	55,417,218	100.0%	125,860,768	227.11%

#### ○ 企業債償還金

当年度決算額 181,277,986円は、企業債の元金償還金である。

### 3. 経営成績（消費税抜き）

#### 事業損益（税抜き）

当年度の事業損益は、357,119,783円の純損失を計上している。

(単位:円、%)

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医業収益 A	0	0	0	0.00%
医業費用 B	770,612,891	715,106,709	55,506,182	7.76%
医業利益(A-B) C	△ 770,612,891	△ 715,106,709	△ 55,506,182	7.76%
医業外収益 D	576,731,606	514,642,619	62,088,987	12.06%
医業外費用 E	163,238,498	157,217,216	6,021,282	3.83%
医業外利益(D-E) F	413,493,108	357,425,403	56,067,705	15.69%
経常利益(C+F) G	△ 357,119,783	△ 357,681,306	561,523	△ 0.16%
特別利益 H	0	0	0	0.00%
特別損失 I	0	0	0	0.00%
特別利益(H-I) J	0	0	0	0.00%
当年度純利益(G+J) K	△ 357,119,783	△ 357,681,306	561,523	△ 0.16%

(注) 当年度純利益(K)欄が「△」の場合は、純損失を示す。

(単位:円、%)

区分	平成26年度	平成25年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
前年度未処分利益剰余金 L	△ 1,434,181,688	△ 1,076,500,382	△ 357,681,306	33.23%
前年度利益剰余金処分額 M	0	0	0	0.00%
繰越利益剰余金年度末残高(L-M) N	△ 1,434,181,688	△ 1,076,500,382	△ 357,681,306	33.23%
当年度純利益 K	△ 357,119,783	△ 357,681,306	561,523	△ 0.16%
その他の未処分利益剰余金変動額 O	1,958,628	0	1,958,628	皆増
当年度未処分利益剰余金(N+K) P	△ 1,789,342,843	△ 1,434,181,688	△ 355,161,155	24.76%
累積欠損金(P欄が△の場合)	1,789,342,843	1,434,181,688	355,161,155	24.76%

(注) L、N及びP欄が「△」の場合は、欠損金を示す。

## 4. 財務状況

### (1) 資産及び負債・資本（消費税抜き）

当年度の資産及び負債・資本の状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分		平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
資産	固定資産 A	7,194,988,326	98.5%	7,531,298,384	94.5%	△ 336,310,058	△ 4.5%
	流動資産 B	108,498,000	1.5%	110,090,000	1.4%	△ 1,592,000	△ 1.4%
	うち現金預金	97,748,000	1.3%	98,956,000	1.2%	△ 1,208,000	△ 1.2%
	うち未収金	10,750,000	0.1%	11,134,000	0.1%	△ 384,000	△ 3.4%
	繰延勘定 C	0	0.0%	327,125,379	4.1%	△ 327,125,379	皆減
計 (A~C) D	7,303,486,326	100.0%	7,968,513,763	100.0%	△ 665,027,437	△ 8.3%	
負債	固定負債 E	6,467,579,011	88.6%	0	0.0%	6,467,579,011	皆増
	流動負債 F	108,498,000	1.5%	110,090,000	1.4%	△ 1,592,000	△ 1.4%
	繰延収益 G	940,663,718	12.9%	0	0.0%	940,663,718	皆増
	計 (E+F+G) H	7,516,740,729	102.9%	110,090,000	1.4%	7,406,650,729	6,727.8%
資本	資本金 I	1,576,088,440	21.6%	8,043,667,451	100.9%	△ 6,467,579,011	△ 80.4%
	うち自己資本金	1,576,088,440	21.6%	1,394,810,454	17.5%	181,277,986	13.0%
	剰余金 J	△ 1,789,342,843	△ 24.5%	△ 185,243,688	△ 2.3%	△ 1,604,099,155	865.9%
	計 (I+J) K	△ 213,254,403	△ 2.9%	7,858,423,763	98.6%	△ 8,071,678,166	△ 102.7%
負債・資本 計 (H+K)	7,303,486,326	100.0%	7,968,513,763	100.0%	△ 665,027,437	△ 8.3%	

#### ○ 資産

地方公営企業会計制度の改正により繰延勘定（控除対象外消費税）は廃目となり、固定資産（長期前払消費税）292,298千円に振替えられた。なお、資産計8.3%減の主な理由は、固定資産の減価償却である。

#### ○ 負債

地方公営企業会計制度の改正により、資本の借入資本金から負債の固定負債に企業債6,355,681,331円、他会計借入金111,897,700円が振替えられた。同様に資本の資本剰余金が、負債の繰延収益に940,663,718円振替えられた。このため、負債全体で6,727.8%の増となった。

#### ○ 資本

地方公営企業会計制度の改正により、資本の借入資本金から負債の固定負債に企業債振替えられたため、資本金が80.4%減となった。また、剰余金は当年度未処分利益剰余金1,789,343千円である。このため、資産全体で102.7%の減となった。

## (2) 主要財務比率（消費税抜き）

当年度の主要財務比率の状況は、次のとおりである。

### ① 流動比率

平成26年度		平成25年度 比 率	類似病院指標 (平成25年度)						
算 式	比 率								
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>流動資産</td></tr> <tr><td>108,498,000</td></tr> <tr><td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td>流動負債</td></tr> <tr><td>108,498,000</td></tr> </table>	流動資産	108,498,000			流動負債	108,498,000	100.00%	100.00%	/
流動資産									
108,498,000									
流動負債									
108,498,000									

※ 流動比率は、1年以内に「現金化できる資産」と「支払わなければならない負債」とを比較するもので、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれる。したがって、理想的な比率としては、200%以上であるといわれている。

### ② 酸性試験比率（当座比率）

平成26年度		平成25年度 比 率	類似病院指標 (平成25年度)															
算 式	比 率																	
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>現金預金</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td>未収金</td> </tr> <tr> <td>97,748,000</td> <td></td> <td>10,750,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border-top: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">流動負債</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">108,498,000</td> </tr> </table>	現金預金	+	未収金	97,748,000		10,750,000				流動負債			108,498,000			100.00%	100.00%	/
現金預金	+	未収金																
97,748,000		10,750,000																
流動負債																		
108,498,000																		

※ 酸性試験比率は当座比率の別名で、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化する未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。

### ③ 自己資本構成比率

平成26年度		平成25年度 比 率	類似病院指標 (平成25年度)															
算 式	比 率																	
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>自己資本金</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td>剰余金</td> </tr> <tr> <td>1,576,088,440</td> <td></td> <td>△ 1,789,342,843</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="border-top: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">負債・資本合計</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">7,303,486,326</td> </tr> </table>	自己資本金	+	剰余金	1,576,088,440		△ 1,789,342,843				負債・資本合計			7,303,486,326			△ 2.92%	15.18%	/
自己資本金	+	剰余金																
1,576,088,440		△ 1,789,342,843																
負債・資本合計																		
7,303,486,326																		

※ 自己資本構成比率は、総資本（負債・資本合計）に占める自己資本（自己資本金+剰余金）の割合を示すもので、比率が高いほど経営の安全性が大きいものといえる。

④ 経常収支比率

平成26年度		平成25年度 比 率	類似病院指標 (平成25年度)															
算 式	比 率																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(経常収益)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業収益</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業外収益</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">576,731,606</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業費用</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業外費用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">770,612,891</td> <td style="text-align: center;">163,238,498</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(経常費用)</td> </tr> </table>		(経常収益)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業収益</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業外収益</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">576,731,606</td> </tr> </table>	医業収益	+ 医業外収益	0	576,731,606	+	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業費用</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業外費用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">770,612,891</td> <td style="text-align: center;">163,238,498</td> </tr> </table>	医業費用	+ 医業外費用	770,612,891	163,238,498	(経常費用)		61.76%	59.00%
(経常収益)																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業収益</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業外収益</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">576,731,606</td> </tr> </table>	医業収益	+ 医業外収益	0	576,731,606	+	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業費用</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業外費用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">770,612,891</td> <td style="text-align: center;">163,238,498</td> </tr> </table>	医業費用	+ 医業外費用	770,612,891	163,238,498								
医業収益	+ 医業外収益																	
0	576,731,606																	
医業費用	+ 医業外費用																	
770,612,891	163,238,498																	
(経常費用)																		

※ 経常収支比率は、経常収益対経常費用比率とも言われ、経常収益（医業収益+医業外収益）と経常費用（医業費用+医業外費用）を対比したもので、100%を超えることが目安となり、100%を超えるほど収益率が高い。

⑤ 医業収支比率

平成26年度		平成25年度 比 率	類似病院指標 (平成25年度)									
算 式	比 率											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業収益</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業収益充当他会計負担金等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;">+</td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; text-align: center;">医業費用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">770,612,891</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業収益</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業収益充当他会計負担金等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table>	医業収益	+ 医業収益充当他会計負担金等	0	0	+	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; text-align: center;">医業費用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">770,612,891</td> </tr> </table>	医業費用	770,612,891	0.00%	0.00%
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">医業収益</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">+ 医業収益充当他会計負担金等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table>	医業収益	+ 医業収益充当他会計負担金等	0	0	+	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; text-align: center;">医業費用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">770,612,891</td> </tr> </table>	医業費用	770,612,891				
医業収益	+ 医業収益充当他会計負担金等											
0	0											
医業費用												
770,612,891												

※ 医業収支比率は、業務活動によってもたらされた医業収益（医業収益充当他会計負担金等を含む。）とそれに要した医業費用とを対比することによって、業務活動の能率を示すもので、これによって経営の成否が判断される。比率が100%未満の場合は、医業収益で医業費用を賄えないことを示すため、経営の見直しなどが必要となる。

## ⑥ 現金預金比率

平成26年度		平成25年度 比率	類似病院指標 (平成25年度)
算	式		
現金預金 97,748,000	90.09%	89.89%	/
流動負債 108,498,000			

※ 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。

## 5. 地方債現在高

前々年度、前年度及び当年度末の地方債現在高は、次のとおりである。

(単位:千円)

区 分	平成26年度		平成25年度		平成24年度	
	年度末現在高	対前年度 増減率	年度末現在高	対前年度 増減率	年度末現在高	対前年度 増減率
地方債	6,355,681	△ 2.77%	6,536,959	△ 0.84%	6,592,377	△ 1.15%

## 6. むすび

以上、予算執行状況及び財政状況、経営成績等についてその内容を審査した結果、経営成績では357,120千円（前年度357,681千円、比較561千円減）の純損失となっており、累積赤字も1,789,343千円となっている。

当病院事業会計は、開設時から指定管理者制度を採用し利用料金制により運営されていることから、医業収益が発生しないため、主な費用となっている指定管理料270,000千円（前年度265,000千円）（消費税込み）や病院建設時における借入償還利子117,454千円など一般会計からの負担金及び補助金で賄われているのが実態である。総費用934,662千円に占める指定管理料の割合は28.9%（前年度30.3%）と依然として高い構成を示している。

なお、財務状況では、新会計基準の施行に伴い大幅な移行が行われ、負債においては、企業債残高6,355,681千円及び他会計借入金111,898千円が固定負債に加えられ、資本剰余金940,664千円が繰延収益として振替えられたため、負債全体では7,406,651千円（6,727.8%）増の7,516,741千円となっている。資本では、資本金が6,467,579千円（80.4%）減の1,576,088千円、剰余金が1,604,099千円（865.9%）減の1,789,343千円であり、資本全体としては8,071,678千円（102.7%）減の213,254千円となっている。

今後については、地域医療の拠点機能の充実と安定を図るため、医師確保対策には指定管理者との連携強化のもとで医師不足の解消に努められ、指定管理料の低減化による経営の安定性の確保の観点から、経営実態の把握や分析をもとに、指定管理者の経営に対する意欲喚起をも含め効率的な経営に資することを望むものである。